

もものせん孔細菌病を
優れた抗菌力でしっかり防除。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。

- 唯一のテトラサイクリン抗生物質、オキシテトラサイクリンを配合
- 既存抗生物質低感受性菌にも安定した効果
- オキシテトラサイクリンを高濃度で処方



実の症状



葉の症状

1500倍、散布液量は400~500ℓ/10aを
確保してしっかり防除!





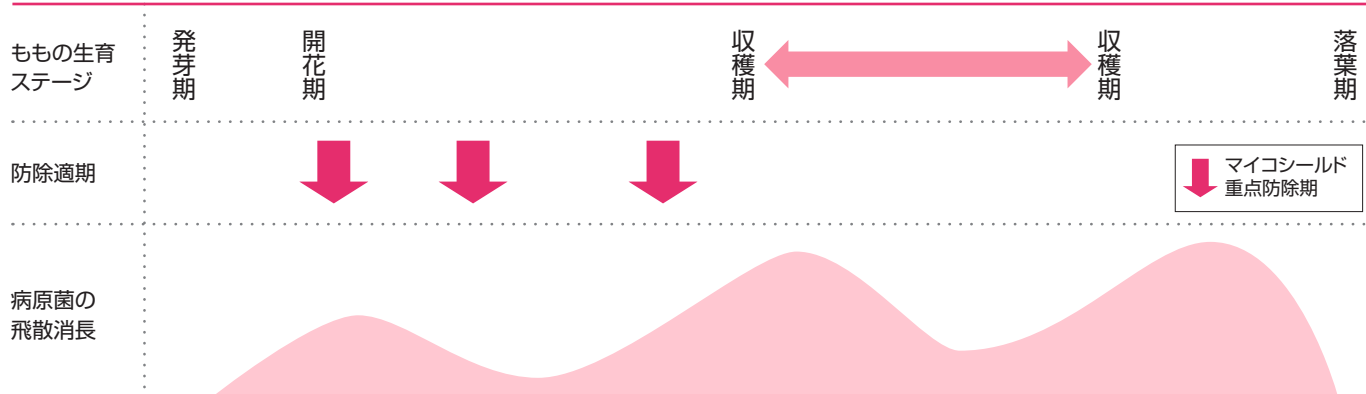
1 広範囲抗生物質オキシテトラサイクリンを高濃度で配合

広範囲抗生物質オキシテトラサイクリンを17.0%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

2 核果類果樹の細菌病に対する高い防除効果

核果類果樹(もも等)の細菌病に対しては、特に高い抗菌活性を示します。

マイコシールドの上手な使い方〈せん孔細菌病の発生消長とマイコシールドの防除時期〉



- ・開花期以降の生育期(4月中旬～6月下旬)に1週間間隔で散布しましょう。(※散布のタイミングは各地域の指導に従ってください。)
耐性菌の発現を防ぐため、作用性の異なる有効薬剤と組み合わせて使用してください。
- ・発生前に予防的に散布しましょう。(発生後では効果が劣ります)
- ・薬剤防除だけに頼らず、風当たりの強い園では防風網を設置する、
春型枝病斑(スプリングキャンカー)が認められた枝は早期に取り除くなど、耕種的防除を併用してください。

■適用病害と使用方法 (抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
もも	せん孔細菌病	1500～3000倍	200～700ℓ/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内

※ネクタリン、すもも、おうとう、うめ、あんず、かんきつ等の作物にも登録があります。

⚠効果・薬害等の注意事項(抜粋)

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布してください。
- もものせん孔細菌病に対しては、ときには葉先の黄化などの薬害を生じるので注意してください。

⚠安全使用上の注意(抜粋)

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

■保管

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。

製造



日本曹達株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

販売



丸和バイオケミカル株式会社

■本社/〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-19-23
TEL03-5296-2314
■札幌/TEL011-222-1285 ■仙台/TEL022-261-1103
■名古屋/TEL052-951-7234 ■大阪/TEL06-6484-6850
■福岡/TEL092-714-7101
<https://www.mbc-g.co.jp>

お問い合わせ窓口/TEL 03-5962-9731 (9時～17時 土日祝を除く)